

「ペットのための防災対策」

災害が起こった時、家族の一員であるペットも、もちろん避難ということになります。避難所でペットは、基本的に飼い主と一緒にというわけにはいきません。ペットが困らないように、ペットのための対策もおきましょう。

今すぐチェック ☒

☒ クレートまたはキャリーバックは準備してありますか？

避難時の必需品です。また、犬はリードも忘れずに。

☒ クレート（ケージ）に慣れていますか？

クレートが安全でくつろげる場所になるように普段から訓練しておきましょう。

☒ 繁殖制限処置はしてありますか？

災害で飼い主とはぐれている間に妊娠、出産となると母体への負担となるだけでなく、放浪犬、野良猫の増加の原因となります。特別な理由がないのであれば、繁殖制限処置を検討してください。

☒ ペットの記録手帳は準備してありますか？

飼い主の連絡先、ペットの情報、ペットの特徴のわかる写真、飼い主と写った写真、ワクチンの記録などを記載し、避難時に持ち出せるようにしておきましょう。

☒ 飼い主明示の迷子札は付けていますか？

外から誰が見てもわかる迷子札を首輪につけておきましょう。さらにマイクロチップを入れておくと、首輪が外れてしまっても飼い主がわかります。

☒ しつけは大丈夫ですか？

人やほかの動物を怖がったり、攻撃的にならないように、また、不必要に吠えたり、騒いだりしないようにしつけておきましょう。猫は避難所では一日のほとんどをケージの中で過ごします。屋外での徘徊や排泄が習慣になっていると、猫のストレスになります。トイレのしつけを行っておきましょう。

☒ 非常用の備蓄は大丈夫ですか？

普段食べているフードは、ローリングストック方式で備蓄。フードと水は、持ち出しやすい室内に保管しましょう。



あなたの
ペットは
大丈夫？

※ 一般社団法人静岡県動物保護協会パンフレットを参照させていただきました。

筆耕：防災コーディネーター 松山 美佐